



三原市長
天満 祥典

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。市民の皆様には、健やかに新年をお迎えることとお慶び申しあげます。

平成30年7月豪雨から2度目の新年を迎えました。今もなお、仮設住宅などで不自由な生活を余儀なくされている皆様に、改めて心からお見舞い申しあげます。

昨年は、災害からの復旧・復興を着実に推進するため過去最大規模の予算を編成するとともに、新たに災害復旧推進室を設置するなど、市を挙げて復旧・復興に取り組んでまいりました。まだ道半ばではありますが、被災された皆様が一日でも早く元の生活を取り戻せるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

さて昨年、元号が平成から令和に変わりました。新しい時代になり、本市も少しずつ変わろうとしています。昨年5月の市役所新庁舎の開庁に続き、今年の春には庁舎駐車場の工事が終わり、市民サービスを提供する拠点の整備がいよいよ完了します。また夏には駅前東館跡地が人々の交流とにぎわいを創出する拠点として生まれ変わり、来年4月からは広島空港の運営が民間委託される予定です。これらの変化を好機と捉えて、市民の皆様や関係団体と一体となってまちの魅力をさらに高め、活力ある三原の実現につなげていきたいと考えています。同時に大学や関係機関などと連携し、保健福祉の取り組みを充実させることにより、安心して健やかに生活できるまちづくりを進めてまいります。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願い申しあげますとともに、本年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますことを心から祈念し、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



三原市議会議長

仁ノ岡 範之

謹んで新年のごあいさつを申しあげます。市民の皆様には、日頃から市議会にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申しあげます。

本市では平成30年7月豪雨からの復旧・復興事業が進められてはいるものの、いまだ避難生活を余儀なくされている方がいらつしやいます。被災された皆様が一日も早く元の暮らしを取り戻せるよう、復旧・復興に取り組んでいくことは議会の使命であると認識しています。引き続き平成30年7月豪雨災害調査特別委員会での調査を通じて、復旧・復興事業の促進と適正化に取り組んでまいります。

さて、市議会は市民に開かれた議会をめざして、さまざまな改革に取り組んでいます。その1つとして、市の監視機能に重点を置いた体制を見直すため、議会から市に政策を提言する取り組みを進めています。昨年は「市民と議会をつなぐ意見交換会」と題して、市民の皆様や関係団体から意見をお聞きする場を設けました。交換会でいただいた貴重なご意見を今後の政策形成に生かしていきたいと考えています。

また、「議員力」の向上などを目的に、議会運営に精通した講師を招いて研修会を実施したほか、議会の透明性を高めるため、ホームページで各会派の政務活動の内容を公開することを決めました。さらに災害時の議員の役割や、取るべき行動を明確にするために災害時対応要領を作成し、これに沿った訓練を実施しました。

こうした取り組みにより、求められる機能を十分に発揮することで、市民の皆様への負託に応えることができると考えています。本年も着実に改革の歩みを進めてまいります。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸せな1年となりますことをお祈りし、新年のごあいさつといたします。